

## 第34回 栃木県営都市公園写真コンクール 審査会 【講評】

	順位	賞	受賞者名	タイトル	撮影公園	審査員長コメント
選    評	1	最優秀賞	堺本 えり菜 様	夕暮れのコスモス畑	鬼怒グリーンパーク	中央のお子さんに、お母さんとお兄ちゃんが目線を落としている様子が家族の温かみを感じられます。背景のコスモスの色彩が季節感を生み出し、奥行き感も感じられることから広々とした公園で、「家族みんなで楽しめる」が表現することができております。
	2	優秀賞	橋本 英樹 様	水ぬるむ朝	栃木県中央公園	身近な公園でも少し訪れる時間帯を変えるだけで、これ程幻想性のある風景に出会えるのかと感動しました。全体的に青味がけた色調が、朝の空気感を表現することができました。
	3	優秀賞	安納 祐一 様	神秘の浮島	井頭公園	露出をうまく操り、緑と浮島の表現を絶妙な色彩で仕上げています。カメラでしか表現出来ない非現実的空間表現が良いです。
	4	優秀賞	田崎 貞夫 様	日光だいや川公園とんぼ池に舞う蛍	日光だいや川公園	都市公園内に、これほどのホタルが舞う様子がとても誇らしいです。水辺から徐々に上がってくる様子も写し出されており、ボリューム満点な作品となりました。
応募作品 総 評						応募者の皆様が、多種多様な工夫を凝らして撮影されていたことが印象的でした。また、撮影テクニックだけでなく、人の温かみやカメラマンと被写体の関係性も作品に表現されていました。単純に日々見慣れた公園内の風景写真ではなく、カメラやレンズを通さなければ見えない世界観での表現が多かったことも素晴らしいです。

審査員長	サトーカメラ株式会社 写真講師	佐藤 秀明
審査員	栃木県公園事務所 所長	木村 裕治
審査員	公益財団法人栃木県民公園福祉協会 理事長	森澤 隆